

調査研究の切り口 本県産業が付加価値を生み出し、持続的な発展をしていくために、中長期的な社会環境変化とその本県への影響や現状を基に、課題を抽出し、対応の方向性を検討

想定される社会環境変化	研究会による調査研究のポイント	県内への影響	左の影響に対する現状と課題		今後の対応方向(例)
			現状	課題	
少子高齢化を伴う人口減少の加速	I 第4次産業革命の影響 ①生産性向上・省力化が実現 ②新製品・サービスが創出 ③もの(商品)の所有(購入)から機能(サービス、便益)の活用(消費)へと消費形態の変化に伴い産業構造が大きく変化 ④機械化・自動化の進展による失業発生が懸念 ⑤技術実証の場を求め、研究機能の地方移転が進行 ⑥高い情報技術能力を持つ人材が求められる ⑦新たな雇用形態の発生	ものづくり 1 付加価値を生む技術力の重要性の高まり ①国・地域・企業間における競争の激しさが増大 ②新製品開発、サービス供給への取組みが活発化 ③新製品の輸出、技術力のグローバルな取引が活発化	1 受注生産型の企業を中心に ①他者との差別化が難しい下請け、孫請け企業が多い ②中核企業を中心とした産業集積を進めている ③工業製品全般の内外での認知度は低調	1 需要創造型の産業群の形成 ①最終製品製造メーカーへの転換、オンライン技術の磨き上げ ②高齢者や単身者の増加、所有から利用へとといった消費市場の変化への的確な対応 ③ヘルスケア、ナノテク等成長産業への進出 ④ターゲットを明確にしたブランド戦略の展開	1 オープンデータ化等の新たな手法による企業間連携の推進 2 市場変化を捉えた製品開発の強化 3 ブランド力を裏付ける高い技術力の発信強化
			2 農林水産物のポテンシャルは高い ①全国的に本県産の農産物等への認知は高まっている ②県内農林水産物が県内食品製造業等に直接投入される割合は低い ③農林水産物の輸出額は横ばい ④営農単位の規模拡大や農地の集積が進む	2 農林水産業を起点とした食のバリューチェーンの構築 ①農林水産物の産地化の推進によるブランド力の向上 ②生産から加工・商品開発・流通・販売までの県内でのバリューチェーンの構築 ③県産農産物や加工品の海外輸出の強化 ④収益力の高い農業経営の推進	
ICTの飛躍的進歩	II 人口構造の変化の影響 ①労働力人口の減少 ②働く高齢者、女性の増加 ③国内需要が縮小し、海外取引が拡大 ④高齢化、単身化の拡大に伴い消費のボリューム層が変化(消費市場の量的変化)	農林水産業 2 地域性のある食への注目の高まり ①産地化やブランド力の向上に向けた、産地間競争の激しさが増大 ②食の外部化が進行し、加工食品や外食へのニーズが増加 ③地域性・独自性のある農産物等の輸出チャンスが拡大	3 観光交流人口は増加傾向 ①インバウンド観光客数は増加傾向 ②観光消費額は横ばいで推移 ③本県の観光知名度は十分とは言えないが、来訪者の満足度は高く、リピーター率も高い ④個人の情報発信の影響力が拡大 ⑤一部地域にて、観光地域づくりを担う組織(DMO)の組成が進行	3 観光の基幹産業化 ①新たなインバウンド相手国等の開拓 ②選ばれる観光地域づくりへの取組み強化 ア) 上質を重視した観光資源の磨き上げ イ) 滞在型など観光プログラムの開発 ウ) 快適な観光周遊環境の整備 エ) ICTの活用によるきめ細かな情報発信 ③観光地域づくりの実施主体の育成・強化	1 質を追求した観光資源の磨き上げ 2 上質かつ付加価値の高い観光戦略の展開 3 ICTの活用、多様なメディアと連携した戦略的な情報発信 4 自動運転技術や、生体認証を活用した利便性の高い受入環境整備 5 DMOなど担い手の組成・育成
			3 観光交流のボリューム層・観光ニーズが変化 ①インバウンド観光客が増加 ②国内観光客は減少し、ボリューム層が高齢者、単身者にシフト ③観光に求めるニーズも多様化し、選ばれるための観光地域づくりの重要性が増大	4 サービス産業の領域の拡大 ①既存のサービス業におけるICTの活用、無店舗・移動巡回などサービス提供手法の転換 ②地域資源、新ビジネスの担い手、余剰リソースなどの組み合わせによる、多様なニーズに対応した新サービス提供手法の事業化の促進	
人流・物流・情報流の急激な増大	III 市場の拡大・変容 ①海外取引の拡大(訪日旅行者・貿易額の増) ②世界市場の一体性が強まり、経済活動主体の競争相手がグローバルに拡大 ③情報流の増大、価値観・ライフスタイル等の変化に伴い消費嗜好が多様化(消費市場の質的变化)	観光・交流 3 観光交流のボリューム層・観光ニーズが変化 ①インバウンド観光客が増加 ②国内観光客は減少し、ボリューム層が高齢者、単身者にシフト ③観光に求めるニーズも多様化し、選ばれるための観光地域づくりの重要性が増大	4 事業者の廃業が増加傾向 ①商業施設の廃業、商店街の空洞化など、サービス業の活力低下の兆しが現れはじめている ②子育て世代の女性・高齢者・障がい者など、新ビジネスの担い手が潜在	4 サービス産業の領域の拡大 ①既存のサービス業におけるICTの活用、無店舗・移動巡回などサービス提供手法の転換 ②地域資源、新ビジネスの担い手、余剰リソースなどの組み合わせによる、多様なニーズに対応した新サービス提供手法の事業化の促進	1 シェアリング・エコミー型ビジネスなど、新たなビジネスモデルの普及促進 2 産業連携機能の強化による多様なニーズへの対応
			4 新たなビジネスモデルが創出 ①人口規模、密度の減少を前提とした新たなサービス需要が増大 ②ICTを活用したビジネスモデルが普及する可能性が拡大	5 研究開発分野で一定の実績 ①大学・研究機関の研究成果実績の蓄積 ②先端技術の社会実験の実績あり ③製品・サービスの生産が主に単体の企業・産業単位であり、連携の広がりや欠く ④新規創業が低調である	
ボーダーレス化の進展	IV 持続可能な地域開発の重要性の高まり	サービス業 4 新たなビジネスモデルが創出 ①人口規模、密度の減少を前提とした新たなサービス需要が増大 ②ICTを活用したビジネスモデルが普及する可能性が拡大	6 人材不足が顕在化 ①高度専門人材は、本社機能、企画開発部門が集中する都市部へ集中する傾向 ②一部産業では人手不足が顕在化し、県外・外国人労働力の活用も進んでいる ③高等教育機関におけるICT教育のさらなる充実が求められる	6 多才な人材を誘引する地域産業力の強化 ①先端技術を活用した中核企業の立地など高度人材が就業意欲を持つ産業力の強化 ②県内において最先端の技術を習得し続ける学びの場づくり ③生産ライン・サービス提供の機械化・自動化による人手不足への対応	1 高い能力発揮を可能とする先端産業の集積 2 ICT教育の充実 3 ICTを活用した労働力の質の向上及び高い職人技術の伝承
			5 産学官連携によるイノベーション創出 ①研究機能の本県への移転集積の可能性が拡大 ②ICT技術の進展により研究開発領域の拡張・高度化が進み、新規事業化や企業間連携による社会実装が進行 ③消費者ニーズが多様化し、オーダーメイド型の製品・サービス創出の重要性が高まる	6 企業の競争力を高める人材確保・育成の必要性の高まり ①先端技術を使いこなす高度専門人材の必要性が増大 ②リモートワーク、兼業・副業など様々な労働形態が普及	
価値観・ライフスタイル等の変化	イノベーション 5 産学官連携によるイノベーション創出 ①研究機能の本県への移転集積の可能性が拡大 ②ICT技術の進展により研究開発領域の拡張・高度化が進み、新規事業化や企業間連携による社会実装が進行 ③消費者ニーズが多様化し、オーダーメイド型の製品・サービス創出の重要性が高まる	人材確保・育成 6 企業の競争力を高める人材確保・育成の必要性の高まり ①先端技術を使いこなす高度専門人材の必要性が増大 ②リモートワーク、兼業・副業など様々な労働形態が普及	6 人材不足が顕在化 ①高度専門人材は、本社機能、企画開発部門が集中する都市部へ集中する傾向 ②一部産業では人手不足が顕在化し、県外・外国人労働力の活用も進んでいる ③高等教育機関におけるICT教育のさらなる充実が求められる	6 多才な人材を誘引する地域産業力の強化 ①先端技術を活用した中核企業の立地など高度人材が就業意欲を持つ産業力の強化 ②県内において最先端の技術を習得し続ける学びの場づくり ③生産ライン・サービス提供の機械化・自動化による人手不足への対応	1 高い能力発揮を可能とする先端産業の集積 2 ICT教育の充実 3 ICTを活用した労働力の質の向上及び高い職人技術の伝承